

<p>(受理番号) 元一 10</p>	<p>(受理年月日) 令和元年 9 月 18 日</p>
<p>件 名 要 旨</p>	<p style="text-align: center;">陳 情</p> <p>県の厳しい財政下、議員海外視察の抜本的な見直しを求めることについて</p> <p>一昨年、県民の厳しい批判を浴び、「非公開の議会改革検討委員会」で作られ、県民のパブリックコメントを経ないで決められた「海外派遣取扱要領」は、県民の批判を受け止めていない内容であり、不断の見直しが求められる。特に、県の監査委員が要望した重要な指摘すら反映していないことは、論外という他ない。</p> <p>消費増税で負担は重くなっていくのに、厳しい財政状況を理由に県民に必要不可欠な多くの施策が削減されている。他方、多くの議員が2000万円以上もの公費を使う海外旅行を復活することに、多くの県民は新たな怒りを強めている。</p> <p>選挙前の1年半は「議会代表1名」以外は誰も海外視察に行かずに選挙をやりすごし、当選したら途端に、中国に10人、スペインに4人、南北アメリカに9人、合計23人に一人150万円以上かけ、4つ星ホテル豪華旅行をするなど、許されるはずがない。自分達で決めた「派遣要領の3」にも違反している。今年だけで2カ所も公費旅行する議員が6人いるなど、税金の私物化の極みである。</p> <p>米国LA～南米ペルー～NY旅行は、知事に同行するだけの移民周年行事旅行であり、「議会代表1名だけ」を定例化すべきである。また、知事が行かずに議員だけで行くNYの2日間は、「年1、2回しか集まらない親睦会」の県人会を利用して、議案に視察先が全く書かれていない「NY市内視察」つまりNY観光するだけなのは明らかである。</p> <p>スペイン視察も、スペイン各地を観光できるように、地理的に非効率な回り方をしている。また、最終日に1時間程度日本大使館訪問日程を追加し、半日のマドリッド観光を楽しむ計画である。オリーブオイルに特化するこの内容であれば、議員ではなく、現地で深い経験・交流・質疑ができる、若手・中堅のオリーブ関係者を募って派遣すべきであり、帰国後、全議員でその報告を受けて香川県政にどう生かすかを議論すればよい。</p> <p>県議会議員ならこのような豪華旅行はあたりまえだ、という県民感覚から大きくずれた特権意識を改め、厳しい財政下で貴重な公金を議長以外にまで使うべきか、海外視察のあり方を抜本的に見直すことを強く求める。</p>